



SURGICAL SPINE

更に操作性を高める放射線防護手袋の薄さをぜひ体感してください。
(最薄部0.10mm)

X線防護眼鏡、放射線防護用手袋XPの取扱いもございます。
担当営業、または下記までお問い合わせください。



度付きレンズ
がご用意可能
なフレームも
ございます。



X線防護眼鏡

¥22,000～(税込 ¥24,200～)

販売名：X線防護眼鏡 / 製造販売届出番号：13B1X10217S00029

- ◎眼鏡レンズ鉛当量：全種類 0.75mmPb
- ◎好みのサイズを選択
- ◎カラーバリエーション豊富
- ◎眼鏡の上から掛けるタイプあり
- ◎側面をカバーするタイプあり

放射線防護用手袋XP

20双入：¥110,000 (税込 ¥121,000) / 単価 ¥5,500 (税込 ¥6,050)
5双入：¥32,500 (税込 ¥35,750) / 単価 ¥6,500 (税込 ¥7,150)

販売名：放射線防護用手袋XP / 製造販売届出番号：13B1X10217S00001

- ◎滅菌済 / 単回使用 / ラテックス・フリー
- ◎指先の厚さ：0.18mm
- ◎サイズ：6.0、6.5、7.0、7.5、8.0、8.5、9.0 (納期をご確認ください)
- ◎鉛当量：0.02 (±0.005) mmPb
- ◎遮蔽率 (±5%)：60kV:40%、80kV:35%、100kV:30%



SURGICAL SPINE

商品の詳細は当社webサイト製品情報ページをご覧ください。

www.s2i.co.jp



製造販売業者

株式会社サージカル・スパイン 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-19-1 NBCビル TEL. 03-6265-0903 FAX. 03-6265-0902

放射線防護用手袋RP

製品の詳細は中面をご覧ください →

OPEN

X線照射野に手指が入ってしまうことありませんか？ もし、爪に縦線がはいっていたら、 それは被ばくが原因かもしれません。

X線透視下の手技が増えていませんか？

整形外科医とりわけ脊椎外科医は、PPS挿入や神経根ブロック、脊髓造影など、手技の内容上、X線透視は不可欠です。また低侵襲手術の普及に伴い、X線透視の使用時間、使用頻度が増加の傾向にあります。

X線透視検査、および手術に携わる整形外科医の被ばく実態調査の結果で、医師18人中13人の利き手に爪甲色素線条が認められ、2人に有棘細胞癌、1人がBowen病(皮膚科領域の悪性腫瘍)を発症していたという報告があります⁽¹⁾。

【出典】⁽¹⁾三浦 富智：整形外科医の超局所慢性被曝による染色体異常 - 臨床整形外科 55巻2号 2020年2月



職業被ばくによる放射線障害例

【X線透視下の手技の例】 放射線科(IVR)/循環器内科(PCI)/心臓血管外科(EVAR)/泌尿器科(PUL)/消化器内科(ERCP)/整形外科(BKP)

手指が直接X線照射野に入った場合の被ばく量

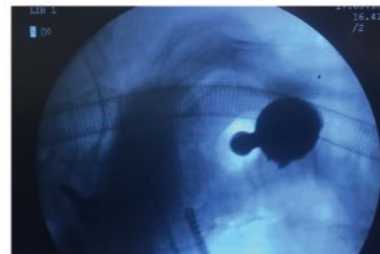
Over-table方式での場合、散乱線による術者の手の被ばく量は75.1μSv/分⁽²⁾ですが、直接X線照射野に入ると、散乱線の場合の230倍となる約17.3mSv/分⁽²⁾被ばくしている恐れがあります。

手指の等価線量限度(やむを得ない被曝量の上限值)は、1年間で500mSv⁽³⁾です。ある脊椎外科医が、手指の被ばく量を測定したところ、3ヶ月で合計368mSv⁽⁴⁾でした(外来での神経根ブロック、脊髓造影、椎間板造影、椎間関節ブロック、計52件)。このペースでいくと、4~5ヶ月程度で等価線量限度に到達してしまうことになります。

【出典】⁽²⁾山下 一太：X線透視による脊椎外科医の職業被曝の実態 - 臨床整形外科 55巻2号 2020年2月

⁽³⁾国際放射線防護委員会(ICRP)勧告、Publication 60: 1990

⁽⁴⁾山下一太、東野恒作ほか：X線透視による被曝の実態—整形外科医・脊椎外科医の職業被曝を中心に— Journal of Spine Research Vol.8 No.5 2017



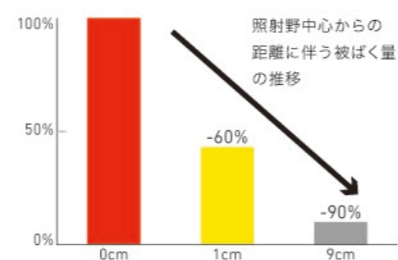
手の被ばく⁽²⁾ 頸椎ヘスクリュー挿入用のタッピング

直接線(約17.3mSv) = 散乱線(75.1μSv) × 230倍⁽²⁾ * 手指の等価線量限度=500mSv

放射線源から離れることが大事!

経皮的冠動脈インターベンション(PCI)を実施する場合、カテーテル挿入のために、術者の手が直接X線照射野に入ることはありませんか? 照射野端から1cm外側に移動するだけで、線量は照射野中心部と比較して60%減少します。さらに、9cm離すと90%減少します⁽⁵⁾。

【出典】⁽⁵⁾循環器診療における放射線被ばくに関するガイドライン(2011年改訂版)



多くの施設で放射線防護用手袋が採用されています

先行して発売を開始した「放射線防護用手袋 XP」は大学病院、国公立病院、整形外科病院、循環器病院、消化器病院、脳神経外科病院を含む240以上の施設で採用されています。(2022年6月現在)



放射線防護用手袋 RP

最小厚み 0.10mm

手袋の厚さは最小で0.10mmと、放射線防護機能を持ちつつ、操作性を高めています。0.02mmや0.05mmの厚さのラテックス製品を作るメーカーの技術ノウハウが手袋に活かされています。



天然ゴム製

弾力性(跳ね返すあるいは戻る力)と柔軟性(手の形に合うため動きやすい密着性)に優れた天然ゴム製です。
*装着時に無理に引っ張ると破れる可能性がありますのでご注意ください。



表面凹凸

手のひら全体から指先にかけて、凹凸の加工がなされています。これにより濡れた時でも滑りにくくなっています。なお、指先でつまんだりつかんだりする時の感覚は、凹凸があっても損なわれることはありません。



良好な装着感

指先: 曲線形状。装着後の抵抗感を抑えます。
手首: シリンダー形状で手首全体に密着します。
手袋の縁に施した加工により、使用中の巻き戻りを防止し保護します。



販売名: 放射線防護用手袋 RP (一般的名称: 放射線防護用手袋)	滅菌済・単回使用
厚み: ≥0.10mm(手のひら) / ≥0.13mm(指先)	長さ: 260-290mm
サイズ: 6.0*、6.5、7.0、7.5、8.0、8.5、9.0* (*納期要確認)	
鉛当量: 0.025mmPb	
遮蔽率(±5%)*	60kv: 42% / 80kv: 35% / 100kv: 30% / 120kv: 27% *JIS T 61331-1 準拠
希望小売価格	20双入/箱 ¥136,000 (税込 ¥149,600) 単価 ¥6,800 (税込 ¥7,480) 5双入/箱 ¥39,000 (税込 ¥42,900) 単価 ¥7,800 (税込 ¥8,580)

販売名: 放射線防護用手袋 RP 製造販売業者: 株式会社サージカル・スパイン 東京都新宿区市谷田町 2-19-1 NBCビル 製造販売届出番号: 13B1X10217S00043



ラテックス製品であるため、天然ゴムによるアナフィラキシー・ショック症状の既往歴がある医療関係者及び患者さんに使用できません。

(該当する場合は、ラテックスフリーの放射線防護用手袋XPをご使用下さい)